

指 導 係

1 指導関係事業

(1) 学校訪問

指導主事が随時訪問し、校長をはじめ教職員と協議懇談することにより、学校の抱える問題を解明し、指導・助言をした。また、要請により研究会等に出席し、指導・助言を行った。

(2) 研修会

令和4年度は、次の研修会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

ア 校長研修会	2回
イ 副校長研修会	1回
ウ 主幹教諭任用時研修会	1回
エ 主幹教諭研修会	1回
オ 主任教諭任用時研修会	1回
カ 情報教育研修会	2回
キ 福生市教員悉皆研修会	1回
ク 教育課題研修会	2回
ケ 教育研究会研修会（24部会）	11回
コ 不登校対応研修会	1回
サ 中堅教諭等資質向上研修会	8回
シ 初任者研修会	10回
ス 2年次教諭研修会	8回
セ 3年次教諭研修会	4回
ソ 4年次教諭授業観察（研修会）	1回
タ 服務事故防止研修会	2回
チ 小学校英語教育研修会	1回
ツ 中学校英語教育研修会	1回
テ 特別支援教育コーディネーター研修会	2回
ト 日本語学級担当教員研修会	2回
ナ 特別支援教室担任研修会	1回
ニ 校長ICT研修会	1回
ヌ 学校マネジメント講座	1回

(3) オーケストラ鑑賞教室

市立小・中学校児童・生徒を対象としたオーケストラ鑑賞教室を、市民会館において開催した。

(4) 教育研究奨励、教育課題等研究委託

教育研究を奨励するとともに教育研究を委託し、教職員の使命の自覚を促すとともに、資質の向上を図った。

ア 教育研究奨励校 2校

学 校	研 究 主 題
二中（2年次）	主体的な学習を促す指導の工夫～生涯にわたって能動的に学び続けられる力を育成するために～
五小（1年次）	自他の生命を尊重し、安全に生活できる児童の育成～学校・家庭・地域が一体となった防災意識と実践力の向上を目指して～

イ 教育課題等研究校 8校

学 校	研 究 主 題
一 小	自分の考えをもち、すすんで話し合い、考えを深める児童の育成～I C T機器等を効果的に活用する授業づくり～
二 小	思いやりの心をもち、自分も他の人も大切にできる児童の育成
三 小	主体的・対話的で深い学びの実現～国語科・算数科の授業改善を通して～
四 小	自ら積極的に学び、問題解決力を発揮する児童の育成～自分の考えを深めるため、話し合い活動を通して～
六 小	学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～
七 小	「自分の考えをもち、考えを広げ深める子ども」～探究的な学びを目指して～
一 中	「学びに向かう調整力の見取り方」～メタ認知能力の育成を通して～
三 中	「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業実践～I C Tの活用を通して～

ウ 教育課題等研究（団体）

団 体	研 究 主 題
校 長 会	幼保小の円滑な接続と小中一貫教育の充実を目指して～中学校区の教育力の向上を図る取組を通して～
副校長会	「個別最適な学び及び協働的な学びを通して、学びに向かう力を育むための副校長の役割」

(5) 特別支援教育の推進

特別支援学級の児童・生徒の安全管理及び学習指導等の充実を図るために指導補助員を配置するほか、教員向けの特別支援教育研修会等を開催し、教員の特別支援教育に関する理解を深め、指導力の向上を図った。

(6) 各種指導補助員等配置事業

小・中学校に各種指導補助員等を配置して、児童・生徒の指導補助等を行った。

事 業 名	人 数 (人)	配置時間 (時間)
夏季休業中水泳指導補助員	25	319
小学校水泳指導補助員	30	468
日本語適応支援員 (技能指導講師)	13	814
学習指導市民講師	48	48
特別支援学級等指導補助員	24	7,701
スクールアシスタントティーチャー	60	19,382

(7) 英語教育指導助手事業

福生市英語教育推進計画に基づき、中学校全校に外国人英語教育指導助手 (A L T) を配置し、中学校英語科の授業における補助を行った。また、各小学校にも随時A L Tが巡回し、小学校第5・6学年の英語科の授業及び小学校の第1学年から第4学年の外国語活動等における補助を行った。

指導日数：1,052日

(8) 理数教育推進事業

小学校第5・6学年、中学校全学年に理科支援員を配置し、理科授業の実験、授業等の補助を行った。

人 員：14名

活動時間：982時間

(9) 学校と家庭の連携推進事業

いじめ、不登校、暴力行為など生活指導上の課題に対応するため、小・中学校全校に「家庭と子どもの支援員」及び「スーパーバイザー」を配置した。

ア 家庭と子どもの支援員

人 員：29名

活動時間：2,734時間

イ スーパーバイザー

人 員：6名

活動時間：17時間

(10) 部活動外部指導者配置支援事業

中学校の部活動に外部指導者を配置することで、専門的な技術指導等による部活動の質の向上と教員の負担軽減を行った。

人 員：27名

配置回数：1,200回

(11) 英語教育推進事業

「読む」・「聞く」・「書く」・「話す」の4技能を測定できる英語四技能検定を中学校第3学年全生徒が公費で受験し、生徒の英語力向上と教員の指導力向上を図った。

小学校第5学年児童及び中学校第2学年生徒全員を対象に「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」において実施している英語教育の体験型プログラムに参加した。

体験型プログラム参加人数：小学校第5学年 368人

中学校第2学年 333人

(12) 福生市学力・学習状況調査（学力診断テスト委託）

一人一人の児童・生徒の学力を継続的に測るため、小学校第2学年から中学校第3学年までの児童・生徒を対象とした学力・学習状況調査を実施した。

(13) 市立学校ICT環境整備

校務系端末及び一人1台端末iPadについて、各種機器に関するヘルプデスク保守委託を締結し、より安定した運用を図った。また、インターネット回線環境の改善のため、接続方式の変更を行った。

(14) 就学前教育と小学校教育の一層の充実に関する研究指定地区事業

就学前教育と小学校教育の一層の充実を図ることを目的として、「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する内容について慶應義塾大学と協定を結び、市内保育園・幼稚園において調査検証を行った。

(15) 人権尊重教育推進校事業

福生第二小学校が東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」の指定を受け、東京都人権施策推進方針並びに都教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育の一層の充実を図った。

(16) 授業改善推進拠点校事業

福生第六小学校が東京都教育委員会「授業改善推進拠点校」の指定を受け、児童の学力向上を図るため、学習状況調査等の各種調査を行った。

(17) 体育健康教育推進校事業

福生第一中学校が東京都教育委員会「体育健康教育推進校」の指定を受け、運動やスポーツを通じた多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする資質や能力を育成するため、効果的な体育健康教育を実践的に研究・実践した。

(18) 文化プログラム・学校連携事業

福生第三小学校と第五小学校が東京都教育委員会「文化プログラム・学校連携事業実施校」の指定を受け、「日本人としての自覚と誇り」等の資質を育成するために、様々な文化に対する理解を深めるための取組を行った。

(19) 安全教育推進校事業

福生第五小学校が東京都教育委員会「安全教育推進校」の指定を受け、安全に関する授業を実施した。保護者や地域人材の協力を得て、実生活に生かすための助言を受けることで、災害発生時に地域の一員としてできることを考えるなど、防災意識の向上を図った。

(20) 不登校児童・生徒支援調査研究事業

福生第二中学校が東京都教育委員会「不登校児童・生徒支援調査研究事業指定校」の指定を受け、新たな不登校を生まない魅力ある学校づくりの研究を行った。

(21) 令和における福生市立学校の在り方検討委員会

福生市教育委員会が、教育課題の解決や、学校教育に対する市民の思いや願いの実現という観点から、今後の福生市立学校の在り方等の検討を行うため、令和4年度「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」を設置した。

ア 開催回数 5回

イ 令和4年度メインテーマ 小中一貫校に関すること

ウ 委員構成

委員長	学識経験者 1人
委員	市立小中学校の校長 10人 市立小中学校のPTA関係者 1人 福生市町会長協議会の代表者 1人 福生市立学校学校運営協議会委員 3人 市内の幼稚園長 1人 市内の保育園長 1人 福生市民生委員・児童委員協議会の代表者 1人 市職員 1人